

〔ワケネギ「東京小町」の周年栽培体系における生育特性の解明〕

ワケネギ3系統の秋植え露地栽培における収量性と抽苔程度

吉原恵子・野口 貴*・木下沙也佳・海保富士男・大槻優華
(園芸技術科) *現農振事

【要 約】秋植え露地栽培の上物本数は、在来系統と比較して「埼玉県優良系統」で同等以上、「東京小町」で下回る。「東京小町」の収穫期は、他の2系統に比べて遅い。抽苔程度については、在来系統が多く、「埼玉県優良系統」と「東京小町」は同程度である。

【目 的】

ワケネギ「東京小町」の作型ごとの収量性や収穫適期について、在来系統（以下、「在来」と略）や「埼玉県優良系統」（以下、「埼玉」と略）と比較しながら解明する。本報では秋植え露地栽培の試験を行い、収量性や抽苔程度について把握し、今後の資料とする。

【方 法】

1. 秋植え露地栽培の収穫調査：「東京小町（以下、「小町」）、在来、埼玉」を2023年9月4日、10月10日、11月8日に銀黒マルチ9220を敷設したベッドに定植した。定植は孔あたり1本とし、「在来」区、「埼玉」区、「小町1本」区とした。また、「小町」では2本植えの「小町2本」区を設けた。定植後は「サンサンネットクロスレッド（目合い0.8mm）」でトンネル被覆した。施肥は、N-P₂O₅-K₂Oを成分量で20-20-20kg/10aとし、全量基肥で行った。収穫調査は、3系統の生育を考慮しつつ同日に行った。
2. 抽苔調査：2023年7月から11月まで毎月定植した3系統の抽苔数を調査した。各定植月の各系統20株を選定し、同株に対して2024年4月10日と5月9日の2回実施した。

【成果の概要】

1. 9月4日定植では、2024年5月8日、10月10日定植では5月23日、11月8日では6月20日に収穫調査を行った（表1）。定植時期が後になるほど栽培日数は短くなった。
2. 分けつを調整して得た株あたり上物本数は、時期や系統により8～20本と開きがあった。上物本数は「在来」と比較して「埼玉」で同等以上、「小町1本」で下回った。「小町2本」では11月定植を除き「在来」と同等であった。また、「小町1本」と「小町2本」は同等であった。上物1本重は9月定植では有意な差はなかったが、定植時期が後になるほど「在来」で有意に大きくなった。
3. 株あたり上物本数が20～30本の時期を収穫適期とすると、3系統全てが収穫適期となったケースは稀で、「在来」と「埼玉」の収穫適期は概ね重なっており、それに比べて「小町」では早いと判断された。
4. 株あたりの抽苔数は「在来」が多く、「埼玉」と「小町」は同程度の傾向がみられた（図1）。9月定植の「在来」と「埼玉」の定植時の苗重が同等だったにもかかわらず、抽苔数に差がみられたことから、苗重が抽苔に及ぼす影響は小さく、系統特性によるものと考えられた（図2）。

【残された課題・成果の活用・留意点】

ハウス栽培での収量性や収穫期を把握するとともに、露地栽培の作型表を作成する。

表1 秋植え露地栽培における収量性および収穫日の適否

定植日	収穫日	栽培日数	系統	草丈	株周り ^a	株重	調整重 ^b	調整本数	上物本数 ^c	上物重	上物1本重	葉鞘径 ^d	収穫日の適否 ^e	
				(cm)	(cm)	(g)	(g)	(本/株)	(本/株)	(g)	(g)	(mm)		
9月4日	5月8日	247	在来	79	9	988	819	40	16 ab	-	-	42.3 ns	10.5	や早
			埼玉	88	8	1,077	818	33	20 a	-	-	44.0	8.0	適
			小町1本	64	7	641	329	16	11 b	-	-	44.0	10.0	早
			小町2本	70	8	868	676	30	16 ab	-	-	45.7	9.8	や早
10月10日	5月23日	226	在来	75	6	739	530	27	14 ab	-	-	29.2 a	10.6	や早
			埼玉	79	6	813	566	32	16 a	-	-	30.5 ab	11.3	や早
			小町1本	68	5	568	366	16	8 c	-	-	36.7 c	11.1	早
			小町2本	72	6	725	430	23	11 bc	-	-	35.9 bc	11.2	早
11月8日	6月20日	225	在来	73	6	407	337	37	20 a	261 a	11.6 a	7.0	適	
			埼玉	77	6	472	362	37	19 a	267 a	15.2 b	7.3	適	
			小町1本	68	5	323	244	28	11 b	163 b	15.8 b	7.7	早	
			小町2本	71	5	323	247	31	13 b	182 b	15.4 b	7.7	早	

a:葉鞘部中間を測定、⁻印は欠測。b:葉身2~3枚になるように皮むき調整した後の分けつの総重量。c:葉身2枚以上かつ葉身40cm以上の分けつ。d:葉鞘中央部の短径を測定。e:当該の収穫日について早:早い、や早:やや早い、適:適期、や遅:やや遅い。各収穫日の各試験区において、表中の数値に付けた異なる英文字間にはTukey法により5%水準で有意差あり。

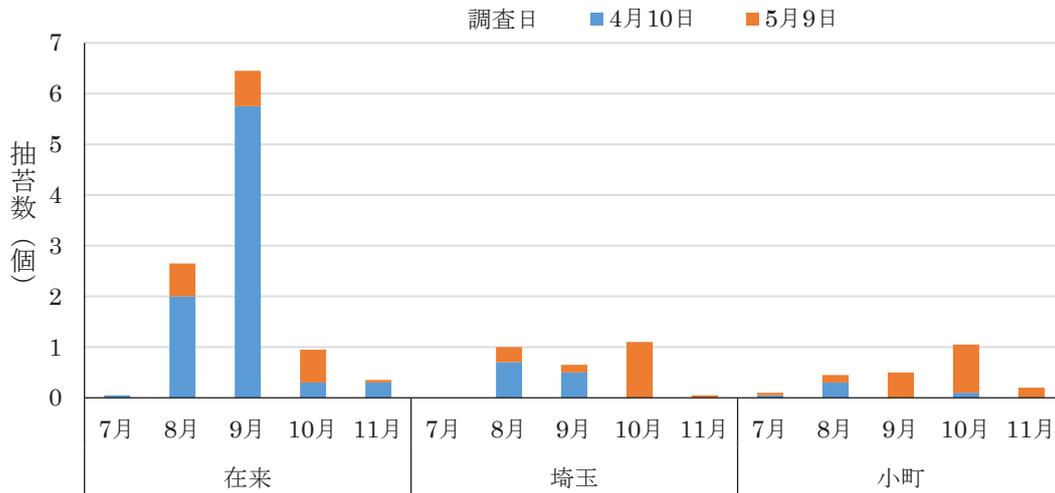


図1 定植時期別の抽苔数

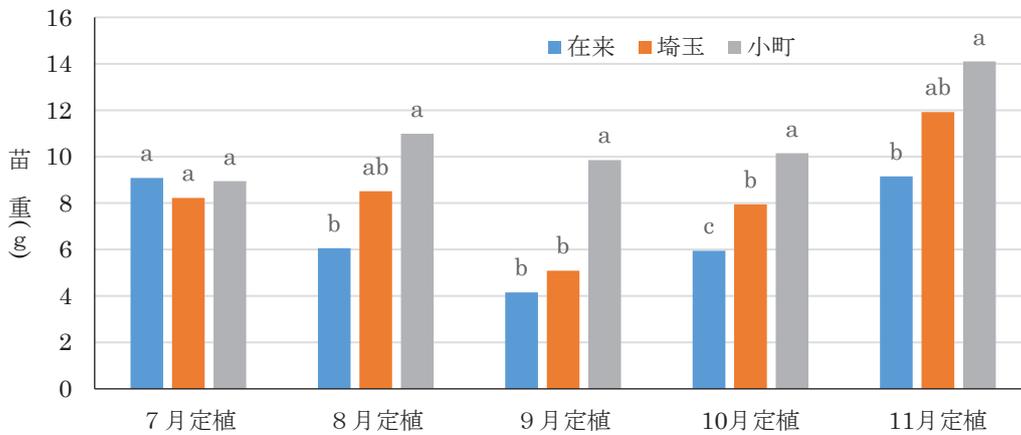


図2 定植時期別の苗重

注) 定植日を同じくするグラフにおいて、異なる英文字間に Tukey 法により 5%水準で有意差あり。(n=20)